

事業名	青少年教育推進事業費			調査番号	118
細事業名	青少年長期自然体験活動事業費	財務コード	159701		
担当部課室	教育委員会	社会教育 課	青少年教育 担当 (内線)	8367	

I 事業の概要

実施期間	始期 S63 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)、県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県内中学校および地域におけるリーダーとしての資質を有し、学校長等の推薦を受けた県内中学生50名	その対象をどのような状態にして 心の豊かさやたくましさ、生きる力が養われている	結果、何に結びつけるのか 地域のリーダー、社会のリーダーとしての資質向上
内容	八丈島という本県にない海洋における大自然の中で、自然体験活動・海洋体験活動・地域交流活動・環境学習活動等を行う。 (キャンプ生活・サバイバル踏破・ビークスノーケル・漁船体験・八丈島小中学生との交流・自然観察・八丈島の産業学習・自主企画活動等) ①実行委員会(3回)委員11名・事務局3名 ②指導者会議(5回)指導者12名・大学生リーダー5名 ③抽選会(県内3ヶ所)事務局2名・各教育事務所担当1名 ④現地調査(1回)事務局2名 ⑤事前研修会(1泊2日)参加中学生50名・指導者12名・大学生リーダー5名 ⑥現地研修(8泊9日)参加中学生50名・指導者12名・大学生リーダー5名 ⑦事後研修会(1日)参加中学生50名・指導者12名・大学生リーダー5名		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	参加中学生数	目標	50人	50人	50人	50人	50人	50人
		実績(見込)	50人	50人	50人	50人	50人	50人
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	IKRテストにおける事後調査の数値	目標	135.1	139.1	142.6	143.6	143.6	143.6
		実績(見込)	139.1	142.6	143.6	142.3	140.7	144.9
		達成率	103.0	102.5	100.7	99.1	98.0	100.9
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		2,507	2,519	2,520	2,291	2,261	2,301	2,301

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	生きる力を測定するIKRテストの事後調査における評価結果をもとに算出している。実績値における最高値を目標として定めることで、その成果を検証している。意図した成果をほぼ上げていると言える。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (人間関係形成力を高めるためのプログラムの再構築を改善策として講じる余地がある。)		
その他	説明	県内中学生・保護者のニーズに応えるためにも、プログラムの再構築とともに参加者がこれまで以上に自己有用感を得られる改善策について検討する。		
見直しの必要性	有	参加中学生の人間関係を形作る力が不足していると感じるため、研修プログラムの見直しを行う必要がある。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	参加中学生における、学校や市町村を越えた人間関係形成の力を高めていくことができるよう改善策を講じる。研修中における反省や振り返り、また班を中心とした活動に焦点をあて、個々の達成感・成就感、また自己有用感を高められる活動プログラムや指導法を検討する。
----------	----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。